



学長告辞



記念撮影



ペルーの民族舞踊「シクリ・ロスウロス」の披露



10月15日(月)午後4時15分から本学大会議室において、平成19年度日本語・日本文化研修留学生及び大学間交流協定に基づく交換留学生(17名)の入学式を挙行了しました。柳澤学長、重松副学長、川那部留学生委員会委員長、指導教員等関係者が列席のもと、学長から入学許可の後、在學生を代表して春木香那さんの歓迎の言葉がありました。

内訳はルーマニアから3人、アメリカ、ドイツ、フランス、韓国、インドネシアの各国から2人、インド、ベトナム、ポーランド、ロシアから各1人となっています。

このあと、午後6時から猿沢池ほとりの「猿沢荘」において、平成19年度秋季留学生懇談会を今春の麻疹の影響で中止になった春季を兼ねるかたちで開催しました。

中国・韓国等アジア諸国を中心に欧米諸国を含め15ヶ国からの留學生を初め、留學生支援団体からの来賓の方々(奈良市観光経済部、国際ソロプチミスト奈良、国際ソロ

日本語・日本文化研修留学生 及び特別聴講学生入学式

平成19年度秋季留学生懇談会

学生支援課

プチミスト奈良「まほろば、奈良市国際交流ボランティア協会、NPO法人奈良NPOセンター、ホストファミリー、帝塚山大学)、チューター、指導教員等、約130名の出席がありました。

懇談会は柳澤学長の挨拶、重松副学長の発声で乾杯があり、来賓の紹介・挨拶のあと、テーブルを囲んでの歓談となりました。留學生同士も「今日をはじめて会った」という出会いがたくさんあったようで、記念撮影をしている姿も見受けられました。

途中、4月以降に入学をした留學生等による自己紹介、秋入学の留學生等による「上を向いて歩こう」の合唱がありました。その後、ペルー及び中国からの教員研修留學生によるペルーの民族舞踊「シクリ・ロスウロス」の披露の後、同舞踊を参加者全員で一緒に踊り、参加者の交流の輪が広がり、和やかな雰囲気で終了した有意義な時間を過ごすことが出来ました。